

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
夏のような日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 ゲノム編集食品とは？何が問題？

■ 1 ■ ゲノム編集食品とは？何が問題？

みなさん「ゲノム編集食品」って聞いた事ありますか？ゲノム編集食品とは何か、
何が問題かを教えてくださる学習会に参加しましたので、お伝えします。
(5/23 講師：天笠啓祐さん)

ゲノム編集とは、簡単に言うと遺伝子組み換え技術の一種です。
遺伝子組み換えが「ある生物に、他の生物の遺伝子を入れる」技術なのに対して、
ゲノム編集は「ある生物の、もともと持つ遺伝子の働きを壊す」技術です。

例えば「寒さに強いトマト」を作りたい場合、
寒さに強い性質を持つ「ヒラメの遺伝子を入れる」のが遺伝子組み換え。
トマトのもつ「寒さに敏感な遺伝子を壊す」のがゲノム編集です。

さらに技術の進歩により、ゲノム編集は遺伝子の働きを壊すだけでなく、壊した
ところに違う遺伝子を入れることも可能になりました。従来の遺伝子組み換えよ
りも正確な遺伝子組み換えができる、新たな遺伝子組み換え技術です。

そして、いま何が問題なのか。
日本では、環境省は遺伝子の働きを壊しただけのゲノム編集生物（違う遺伝子を
入れないもの）は規制対象外と決め、厚生労働省もゲノム編集食品を規制の対
象外と決めました。届け出も任意とされたため食品表示も困難となっています。つ

まり、ゲノム編集食品が環境影響評価も食品安全審査もされず、食品表示もないまま、私たちの食卓にのぼることになるのです。

そもそも生命体は複雑なバランスや調和で成り立っています。1つの遺伝子が1つの役割を担っているわけではなく、お互いどのように影響しあっているのか未知の部分も多いです。それを人間の都合で特定の遺伝子を壊すことは、全体のバランスを崩し、複雑な生命ネットワークをかき乱すこととなります。壊してよい遺伝子などないのではないのでしょうか。

また、特定の遺伝子を壊すといっても、どうしても標的外の遺伝子も壊してしまう「オフターゲット」という問題も起こっています。

ゲノム編集以降さらに技術は進み、「CRISPR-Cas9（クリスパーキャスナイン）」というゲノム改変技術を使い、特定の遺伝子が偏って遺伝する「遺伝子ドライブ技術」や、DNAではなくRNAを操作するRNA干渉法（技術的には容易だが精度は粗く、仕組みが不明で問題が多い）など、遺伝子を操作する技術が次々に生まれ、遺伝子ドライブ技術やRNA干渉法を使った生物農薬も開発されています。

まだまだ新しい技術であり、環境への影響も、他の生物への影響も、食べた人への影響も分からないことが多すぎるにもかかわらず、安易に流通が承認されているのが現状です。

私たちは、すべてのゲノム編集生物の環境影響評価、食品安全審査、表示の義務付けを求める署名に賛同しています。全国で100万人の賛同を集め、消費者の知る権利にこたえた制度にしてもらいたいと考えています。

こちらの署名にご協力いただくと幸いです。どうぞよろしくおねがいします。

<http://nishoren.net/flash/11263>

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー! (奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (奈良市今市町 40-1)
